
五十嵐家の日常

秋月 心葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

五十嵐家の日常

【Nコード】

N7149H

【作者名】

秋月 心葉

【あらすじ】

とある街中に、総勢22名と言う大家族がある。その名も五十嵐家。これは、その五十嵐家の日常を描いたものである――。＊只今長期連載休止中です＊

FILE 1…登場人物

ここでは本編で登場する人物の名前と役柄、年齢を書いています。
(徐々が増えて行きます。)

五十嵐 葉乃母^{はの}。ほとんど家に居ない。

翔也父^{しょうや}。おっとりしている。

雄也長男^{ゆうや}。自由気まま。29歳。

詩乃長女^{しの}。しっかり者。28歳。

梨乃次女^{りの}。毒舌家。27歳。

龍也次男^{りゅうや}。運動神経バツグン。26歳。

宇乃三女^{うの}。無口。25歳。

拓也三男^{たくや}。チャライ。24歳。

恵梨乃四女^{えりの}。賢い。22歳。

由梨乃五女^{ゆりの}。天然。22歳。

直也四男^{なおや}。見た目が不良っぽい。21歳。

遼也五男^{りょうや}。ひきこもり。20歳。

乃々六女^{のの}。漫画大好き。18歳。

文也六男^{ふみや}。悪戯好き。17歳。

羅乃七女^{らの}。皆のまとめ役。16歳。

聖也七男^{せいや}。文学系。15歳。

魅乃八女^{みの}。六つ子ちゃん。14歳。

雪乃九女^{ゆきの}。六つ子ちゃん。14歳。

癒乃十女^{ゆの}。六つ子ちゃん。14歳。

唯也八男^{ゆいや}。六つ子ちゃん。14歳。

秀也九男^{しゅうや}。六つ子ちゃん。14歳。

時也末っ子^{ときや}。六つ子ちゃん。14歳。

芽衣詩乃の子供^{めい}。10歳。

結衣詩乃の子供^{ゆい}。10歳。

麻衣詩乃の子供^{まい}。10歳。

高 柏
沢 木
優磨^{ゆうま}秀也の親友。
梓羅^{あずさ}乃の親友。頭がいい。14歳。
病弱。16歳。

FILE 2..我が家の朝／前

おはようございます。詩乃です。今、何時だと思えますか？

正解は朝4時！！19人分作るの、こうじゃないと間に合わないんですよ。

え？1人足りないじゃないかって？そうです。今年29歳になるあの馬鹿兄貴は、また、どこかへ旅に行きました。

誰だかわかるでしょ？雄也の事です。

あ、そうそう。拓也から上は皆働いているんですよ。えらいですよ？

馬鹿兄貴を除いて。

「よしっ！今日も完璧♪」

やつとお弁当と朝ごはんが出来た所で起きて来たのが、我が家の朝食審査員。梨乃です。

「あ、梨乃おはよう。今日はオムライスなんだけど。どう？」

「.....形が雑。」

結構へこむんだよね.....これ。

「よしっ！じゃあ、梨乃。着替えて食べて六つ子，Sを起こしてきて！」

「はいはい.....」

家には双子ちゃんと六つ子ちゃんが居るわけでした。
ちなみに中学生組は7人。全部梨乃が起こしてくれます。

「詩乃ねえ、おはよ。龍にいは？」

「あ、拓也。おはよ。龍也はまだ寝てる。」

「・・・起こしてくる。」

そういつてまた階段を上る拓也。数分後には悲鳴が聞こえてきて。
拓也が龍也を蹴ったのが丸分かり。

「詩乃ねえ！拓也が・・・！」

「龍也。はい、引きこもりの餌。」

「また？？」

引きこもりⅡ遼也。そして龍也が行くのとすれ違って、7人の子供
達が降りてくる。

「「「「詩乃ねえ、おはよ！」」「」「」」

「うるさ。」

「はい、六つ子ちゃんおはよ。梨乃、聖也は？」

「受験勉強し忘れてたんだと。」

確かに聖也は受験生。でも、今ですか・・・？

「ただいま。」

「ゴメン、龍也。次は聖也の部屋。」

「何で俺ばっかなの！？」

「体力あるから。そして次男だし。」

「」「」「龍にがんばろ！！」「」「」「」

そして、家の中で一番の無口が起きてくる。

「はよ。」

「あゝ。宇乃。高校生組と大学生組、起こしてきて。」

「めんど。」

と、宇乃は言いながらも起こしに行った。

あ、続くの？

FILE 2..我が家の朝／前（後書き）

人物プロフィール 1

名..五十嵐 雄也

読..いがらし ゆうや

呼..雄にい

性..♂

一人称..俺

容姿..少し茶色の入った髪にはちゃんと手入れがされている。

髭を生やしており、身長は180cmと割とでかい。

よく旅に出ている長男。

詩乃から馬鹿兄貴呼ばわりされる。

FILE 3 ・・我が家の朝／後

おはようございます。前回に引き続き、詩乃です。
今、高校生組と大学生組も起きたところです。

「由梨く！ケチャップとって！」

「恵梨、これでいい？」

「それはマヨネーズだよ！」

「じゃあこれ？」

「それは好みソース！」

「あ、これ？」

「そう！とって！」

いまのは、恵梨乃と由梨乃の会話。2人とも大学4年生です。
成績・性格はともに正反対な2人。でも仲良し♪

「恵梨ねえ、由梨ねえ、先行ってるぞ？」

「「直也の薄情者！！」」

「わかったよ。待ってるから。」

わあ。ダブルサウンド。でも家はダブルサウンド以上にすごいもの

があるからなあ・・・。

「「「「「詩乃ねえ！お代わりッ！」「」「」」」」」

ほらきた。名づけて六つ子サウンド（笑）。

「はい。どうぞ。」

「行って来まーす。」

毎日最初に家を出るのは梨乃。

そのあと、宇乃、龍也、拓也と続く。

あたしもご飯を食べて・・・。

後は、皆を見送って、戸締りするだけ！

「「「「「いってきまーす。」「」「」」」」」

「「「「「いってらっしゃい！」「」「」」」」」

大学生組、出発。あ、中・高組も食べ終わった??

「乃々ねえ、文にい、魅乃、雪、癒乃、唯、秀、時。行くよ。詩乃ねえ、聖也は置いてっていいんでしょ？」

「うん。」

羅乃は本当に決断力が優れてるなあ。ちなみに家の兄弟たちが通ってる中学校と高校は、中高一貫学校！だから出発も同じなの♪

あ、あたしも会社行かなきゃ！

FILE 3：我が家の朝／後（後書き）

人物プロフィール 2

名…五十嵐 詩乃

読…いがらし しの

呼…詩乃ねえ・詩乃

性…♀

一人称…あたし

容姿…髪は茶色で肩より少し長い。

身長は176cm。

しっかり者の長女。

弁当・朝食は詩乃が作る。

FILE 4：五十嵐家の登校風景。（中学校）

おはようございます♪時也です。
今、学校につきました。

「時也！今日、眠いから席代わって！」

「唯也、またですか？」

うちの学年は3クラスあって、A組に癒乃と魅乃、B組に雪乃と秀也、C組に僕と唯也がいるのです。因みに皆そっくり。
先生も見分けられていないので、僕らはときどき入れ替わっているのです。

僕の席は窓側の一番後ろで、唯也は僕の隣の席の一番前——出席番号順にすると僕は唯也の前——なので唯也は眠い時、僕の席に移動します。

「ま、いいですけど。」

「時也！唯也！俺ら先に行ってるから！」

「魅乃達もいっしょにいこッ！！」

あらら。秀也は女の子に囲まれながらの登校ですか。
うらやましいですねえ。

「わかりました！」

そう返事した瞬間。

「秀！」

そういつて手を肩にかけられました。

「え？」

認識するのにちよつとかかってから、

「かしわぎゆうま柏木優磨君、僕は時也です。秀也は雪乃達ともう行きました。」

「あ、時也か。ごめんな！」

秀也の友達の柏木優磨君でした。

キンコーンカーンコーン

「時也！予鈴なったから先行くぞ！！」

「あつ。唯也！待ってくださいよー！」

唯也においていかれました……。でも、また今日も楽しい1日になる予感です・・・♪

余談。

唯也はテストの点が悪かったらしく、真っ青な顔をしてました。ま、寝てたんだからしょうがないですね。

僕ですか？僕はもちろん100点でしたよ☆

FILE 4：五十嵐家の登校風景。（中学校）（後書き）

人物プロフィール 3

名：五十嵐 梨乃

読：いがらし りの

呼：梨乃ねえ・梨乃

性：♀

一人称：あたし

容姿：髪はこげ茶で、肩までのショートカット。

身長は174cm。

毒舌家の次女。

朝食審査員をしていて、詩乃はこれをもとに、より良い朝食作りを心掛けている。

FILE 5：五十嵐家の登校風景。（高校）

おはよう。羅乃よ。

さっき中学生組と別れたところなの。

中高一貫っていつても入り口が別なのよねえ・・・。

嗚呼、唯たちが愛しい・・・。

あ、いっとくけど、あたしはブラコンなのよ。同時にシスコンでもあるけど。

「羅乃っ！お久！！」

「梓！？」

高沢 梓^{たかさわ あずさ}。あたしの親友。

今日は体調良いみたいね。

「今日は調子良いの？」

「うん！今週いっぱいは大丈夫！！」

ホントに良かったあ・・・。

ん？文にいが居ない・・・？

嫌な予感が・・・。

「ね、文にいまなかった？」

「文也くん？さあ？見てないけど。」

そっかあ。。。じゃあどこに・・・？

「またなにか仕掛けてるんじゃないよねえ?・・・きゃあ!何コレ!?!」

予想的中。何か降って来た。

「漫画・・・?」

「文にい!!これ、乃々ねえのでしょ!?!」

「あ、バレた?」

「羅乃!!漫画返して!!」

もう!文にいったら・・・!!悪戯ばかりして!!

「あ!」

「どしたの?乃々ねえ?」

「今日、ブラックハーツの新刊発売日なのに、クラブがあって買いに行けない!!文也、買って来て!」

「今日はダチと遊ぶから無理!!」

「じゃあ、羅乃。お願い!!」

「あゝ。はいはい。放課後、買っておくから。」

「羅乃、あたしも付き合うよ。ブックストアでいいんでしょ?」

「うん。梓ありがと。じゃ、4時に校門前に集合!」

「おk!」

キンコーンカーンコーン

「羅乃く? 予鈴鳴ったからいくよく?」

「あ、今行くよ! 梓!」

♪ じゃあ皆さん。授業に遅れるといけないのでまた今度! さよならく

FILE 5：五十嵐家の登校風景。　（高校）　（後書き）

人物プロフィール　4

名…五十嵐　龍也

読…いがらし　りゅうや

呼…龍にい・龍也

性…♂

一人称…俺

容姿…髪は雄也と同じく少し茶色が入っており、ショートカット。

身長は178cm。

運動神経バツグンの次男。

遼也のご飯は龍也がもっていく。

FILE 6：みんなでご飯♪

こんにちは。

今、丁度12時です。時也です。

「時也？学生食堂いかねーの？」

「あ。今行きます。」

昼食は毎日、唯也達と学生食堂でお弁当を食べます。

「あつ。時也〜！唯也〜！こっちこっち！」

「癒乃、皆はどこですか？」

「ジュース買いに行ったよ〜。」

「「「おまたせ〜！！」「」」

魅乃と雪乃と秀也が買って来たのはオレンジジュース2本、桃水2本、スポーツドリンク2本。合計6本。

「時也は何がいい？」

「僕は何でもいいです。」

「唯也は？」

「う〜ん。オレンジジュース〜！」

「はい。これでしょ？」

「やった、KOOだ！雪乃さんきゅっ！！」

「唯也は本当にKOOが好きなんですネ。」

「おう！めっちゃ好き！」

「唯也、うるさい。ねえ。時也はこれでいい？」

雪乃がくれたのは桃水。

甘いのが苦手なんだけどもなあ……。
しょうがないか。

「はい。皆がいいなら……。」

「あ！それ魅乃が狙ってたやつ！」

「じゃあ譲りますよ。別に僕は何でもいいですし。」

「ありがと〜！時也大好き♪」

「魅乃、むやみに好きとか言わないほうがいいですよ？」

「う、わかってるよ！」

なんとか桃水は魅乃のおかげで回避。

「じゃ、時也はこれね。」

結局、僕にはスポーツドリンクが回って来ました。
皆でお弁当を出して、

「「「「「いただきます！」「」「」「」

詩乃ねえ命名「六つ子サウンド」で挨拶して、一斉に食べ始めます。

「「「「「ごちそうさま♪」「」「」「」

そして一斉に食べ終わります。

このお弁当を食べる時間は僕の1日の中で一番幸せな時間です。

FILE 6..みんなでご飯♪(後書き)

人物プロフィール 5

名..五十嵐 宇乃

読..いがらし うの

呼..宇乃・宇乃ねえ

性..♀

一人称..私

容姿..髪は茶色のショートカット。赤い眼鏡をしている。

身長は172cm。

無口な三女。

高校生組と大学生組を起こしている。

FILE 7：帰り道

キンコーン

「唯也。聖にいの迎えに行きますよ?」

「おう!」

初登場でうかれてる唯也です☆

俺等はいつも6人で集まって聖にいのいる3年A組に行く。これは日課になっている。

「・・・あれ?あれって羅乃ねえよね?」

と雪乃が言うので見てみると確かに羅乃ねえが走ってくる。

「あ、ホントだ!でも何で中等部に?」

「羅乃ねえ!」

「あ!魅乃!それに雪、癒乃、唯、時!丁度良かった!今日、あたし達遅くなるから。」

「え?何で?」

「乃々ねえはクラブ、文にいは遊び、あたしは乃々ねえの漫画。」

「あ、なるほど。分かりました。」

「それじゃ！お願いね！」

そう言いながら走っていく羅乃ねえ。でもどこに行くんだろ・・・？

「お、皆待たせた？」

「あ、聖にい。大丈夫、今まで羅乃ねえと話して時間つぶしてたから。」

「へえ。あれ？秀は？」

「女の子に呼び出しされてた。」

「つまり告白？」

「そ。」

ピロリン♪

「「「「「あ、メール。」」」」」

『T o・五十嵐家の皆

愛する妹弟達！

みんなのお兄様が帰ってきたぞ！

一刻も早く帰ってくるように！

F r o m・雄也♪』

「「「「「・・・。」」」」」

「今寒気がしたのは気のせい？」

「「「「うん、多分気のせい。」」」」

皆に来たってことは一斉送信されたんだよね？
雄にい、今夜は絶対ご飯抜きだろうなあ・・・。

FILE7：帰り道（後書き）

人物プロフィール 6

名…五十嵐 拓也

読…いがらし たくや

呼…拓也・拓にい

性…♂

一人称…俺

容姿…髪は金髪。（染めている）

身長は174cm。

外見がチャライ三男。

毎朝龍也を蹴るのが日課になりつつある。

FILE 8：羅乃の放課後

「梓！おまたせ！」

「全然待ってないよ♪」

はい、こんにちは♪

羅乃よ。

今は魅乃達に遅れて帰ることを伝えて、校門の前に着いたところ。

「じゃ、行こッ♪」

ピロリン♪

「メール？」

そこには雄にいからのメール。すぐさま切る。

「さ、梓、行こッ♪」

「え？大丈夫なの？」

「大丈夫！雄にからだからきつとまたろくでもないことだし。」

「ああ、そっか。じゃあ、行こうか。」

これで納得されちゃう雄にいつて・・・。

数十分後

あたし達はブックストアって言う本屋に居るの。
ここは結構大きくて、本なら何でも揃っているのよ。

本屋の前には小学4年生くらいの見覚えのある女の子が——っ
てあらっ？

「あっ！羅乃ちゃん！！」

「芽衣！？どうしたの？」

「乃々ちゃんに聞いたら羅乃ちゃんは本屋にいるって聞いたから♪」

「羅乃？この子は？」

「あ、そっか。梓とは初対面だったわね。この子はあたしの姪で——」

「芽衣っていいいます。よろしく願います。」

「可愛い♪私は高沢梓。よろしくね♪」

「芽衣は詩乃ねえの子供なの。」

「へえ。」

「で、芽衣。用事があったんじゃないの？っていうか、結衣と麻衣は？」

「あ！そうだった！あのね、雄也くんが家で待ってるって。結衣は聖也君達の所で、麻衣は恵梨乃ちゃん達の所に居るよー。」

「そう。あたしは梓と買い物してから帰るから。芽衣はもう帰っていいわよ。」

「乃々ちゃんと文也君は？」

「あの2人も遅くなるから。雄にいに伝えて置いて。」

「分かった！ばいばい！」

わざわざ芽衣達をお遣いに出させるなんて。雄に人も人使い荒いなあ。さて、乃々ねえの漫画、探さなきゃ！

FILE 8：羅乃の放課後（後書き）

人物プロフィール 7

名…五十嵐 恵梨乃

読…いがらし えりの

呼…恵梨乃・恵梨ねえ

性…♀

一人称…アタシ

容姿…茶に近い髪色。

身長は169cm。

由梨乃の双子の姉である四女。
全国模試は毎回1位。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7149h/>

五十嵐家の日常

2010年10月15日22時31分発行